

刈谷市まち・ひと・しごと
創生総合戦略推進状況
(平成27年度)

刈 谷 市
平成29年1月

目次

1	はじめに	1
2	戦略の推進	2
3	具体的な取組	3
	【基本目標1】 結婚・子ども育成支援.....	3
	【基本目標2】 しごと・雇用創出支援.....	6
	【基本目標3】 活動・交流・にぎわい支援.....	10
	【基本目標4】 住環境整備.....	14
	【共通事項】 刈谷の魅力発信の推進.....	17

1 はじめに

刈谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略は、「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、人口減少・超高齢化という課題に向けての本市の考え方などを定めています。

本戦略が掲げる目指す姿・目標の実現のために、適切な進行管理を行う必要があることから、このたび平成 27 年度の推進状況をまとめました。今後も住みよい環境の確保など、自立的で持続可能な社会の実現を目指し、国と地方が一体となって推進していきます。

【総合戦略の構成イメージ】

《総合戦略の基本方針》

「若い世代が生涯の居住地として選択し、将来に明るい希望を抱くことができるまち」を目指す

《人口規模の目標》2060（平成 72）年：人口 約 16 万人

【課題 1】

- ◆ 若い世代の結婚・出産・子育てに関する希望を実現する

更なる出生率の向上（合計特殊出生率の向上）

【課題 2】

- ◆ 居住地として選ばれるよう暮らしやすいまち・子育てしやすいまちとしての魅力を高める

子育て世代の転出抑制

（ターゲットを絞った移動率の改善）

《基本目標 1》

結婚・子ども育成支援

～若い世代の結婚・出産・子育てなどの希望をかなえる～

《基本目標 2》

しごと・雇用創出支援

～だれもが意欲的に生きがいを持って働けるまちをつくる～

《基本目標 3》

活動・交流・にぎわい支援

～安心・快適に住み続けられ、多くの人が訪れるまち(地域)をつくる～

《基本目標 4》

住環境整備

～安心・安全な定住環境を整備する～

《共通事項》

刈谷の魅力発信の推進

～刈谷の魅力を市内外に向けて効果的に広く発信する～

《地域連携の視点》

地域連携による取組

～官民連携や市町村間連携による持続可能な地域をつくる～

人が集まる

出産・子育てしやすい環境の整備・向上、移動率の改善を目指し、基本目標に掲げる取組を実現することで、自立的で持続的な社会を創生する

住む

育む

働く

学ぶ

遊ぶ

2 戦略の推進

① 重点事業の実施

本戦略の基本方針である「若い世代が生涯の居住地として選択し、将来に明るい希望を抱くことができるまち」「2060年に人口約16万人」を目指して、『結婚・子ども育成支援』『しごと・雇用創出支援』『活動・交流・にぎわい支援』『住環境整備』の4つの目標を設定し、それぞれの目標を達成するため、「出生率の向上」と「社会移動の改善」が期待でき、取組効果が高い具体的な事業を選別し、重点的に推進します。

② 効果検証

本戦略は、各取組ごとに位置付けられている重点事業について、毎年推進状況を把握し、進行管理を行います。

【資料の見方】

重点事業	推進状況	担当課室名
刈谷の魅力発信事業 (※地方創生先行型 交付金事業)	市外イベントでは、老若男女幅広くから親しみを持たれるマスコットキャラクター「かつなりくん」をきっかけとしながら、主に歴史文化面をPRし、本市の認知度やイメージ向上に努めた。 【刈谷の魅力発信事業】	企画政策課 広報広聴課 文化観光課

地方創生関連の交付金を活用した事業に記載

推進に予算を伴う場合は予算事業名を記載

また、下記表のとおり戦略全体の目標に加え、具体的な施策の効果を客観的に検証するため、基本目標ごとに、成果に係る目標を数値で示した重要業績評価指標（KPI）を設定しています。

この指標を基に、PDCA サイクルで施策・事業の効果検証、改善などを図り、計画的に推進していきます。

重要業績評価指標（KPI）	策定時 (H26)	現状値 (H27)	目標値 (H31)
住みやすさを実感している市民の割合	82.4%	—	85% (H32)
住み続けたいと思っている市民の割合	88.7%	—	90% (H32)
誇りや愛着を感じている市民の割合	75.8%	—	80% (H32)
合計特殊出生率	1.77	1.76	1.82
0～9歳人口	14,990人	15,031人	16,000人

3 具体的な取組

【基本目標1】 結婚・子ども育成支援

～若い世代の結婚・出産・子育てなどの希望をかなえる～

重要業績評価指標 (KPI)	策定時 (H26)	現状値 (H27)	目標値 (H31)
出生数	1,747人	1,721人	1,800人
子どもを生み育てやすいと思う市民の割合	78.1%	—	80% (H32)
待機児童数	8人	9人	0人

方向性1 若い世代の結婚・出産の意欲を高め、希望を実現する

取組① 結婚に対する関心・意欲向上に向けた啓発と交流機会の提供

重点事業	推進状況	担当課室名
家族・子育て家庭の情報発信	<p>市民だよりで毎月「赤ちゃん登場コーナー」を掲載するなど、家庭を持つ楽しさや喜びを共感できるような情報発信を行っている。</p> <p>スマートフォン専用アプリと連動したウェブサイト「かりやSmileねっと」を開始し、効果的に情報発信することで、「子育てしやすいまち」をPRしている。</p>	<p>広報広聴課</p> <p>子育て支援課</p>
若い世代の交流の場づくり	<p>若い世代のニーズにあった講座を企画し、受講後もお互いが仲間となって活動できる場を提供した。【青年講座開催事業】</p>	生涯学習課
ライフプラン関係講座の実施	<p>ライフプランについての講義を実施し、結婚や子育てなどを見据えることを含め、自分を見つめなおす機会を提供することができた。【男女共同参画啓発事業】</p> <p>市内全中学校の3年生が、実際に幼稚園等に出かけ、幼児と遊ぶ体験をし、次世代の親として成長していく過程で理解・体験すべき内容を知ることができた。【保育体験実施事業】</p>	<p>市民協働課</p> <p>学校教育課</p>

取組② 結婚・出産しやすい環境づくり

重点事業	推進状況	担当課室名
訪問体制の充実（赤ちゃん訪問、育児ママ訪問等）	<p>あかちゃん訪問利用率は微増しており、助産師等の訪問指導により母親の育児不安の軽減の一助とすることができた。【育児健康支援事業】</p> <p>育児中の母親のところへボランティア訪問員が訪問し、母親の話や気持ちを傾聴することで育児に対する不</p>	<p>健康課</p> <p>子育て支援課</p>

	安を和らげるとともに、子育て支援センター等地域の子育て支援情報を提供した。【育児ママ訪問サポート事業】	
妊娠・出産・子育て包括支援事業	妊娠期から出産、育児期にわたる様々なニーズに対し総合的相談を提供し、包括的な切れ目のない支援を推進する体制を検討した。	健康課

方向性2 子育てニーズにあった切れ目のない支援・教育環境を実現する

取組① 子育て支援・教育情報の発信・PR

重点事業	推進状況	担当課室名
“子育て応援 City・刈谷” PR 事業	子育てに関する行政サービスや施設等の情報を収集・整理した子育てガイドブックの発行や、スマートフォン専用アプリと連動したウェブサイト「かりや Smile ねっと」を開始し、充実した子育ての取組を効果的に情報発信している。【子育てアプリ構築事業】	子育て支援課
子育てアプリ構築事業（※地方創生先行型交付金事業）		子育て支援課

取組② 子育て支援施策の充実

重点事業	推進状況	担当課室名
子育て世代への給付、補助等による支援の充実	子育て支援の観点から、遅滞なく補助金を交付することができた。【幼児2人同乗用自転車購入費補助事業】	子育て支援課
子育てコンシェルジュ事業	市内39か所の子育てに係る施設に子育てコンシェルジュを配置し、身近な施設で子育てコンシェルジュに相談できる体制を整えた。【子育てコンシェルジュ事業】	子育て支援課
ファミリー・サポート・センター制度	平成12年度の事業開始以来、登録会員、活動件数ともに大幅な伸びを示しており、市民に認知され地域に根ざした活動が行われている。【ファミリーサポートセンター運営事業】	子育て支援課

取組③ 教育の充実

重点事業	推進状況	担当課室名
小中学校の学習環境整備（空調設備設置事業）	市内小中学校の普通教室及び空調設備の無い特別教室に空調設備を整備するための調査・設計を行った。【空調設備整備事業】	教育総務課
特別支援学校の整備	特別支援教育連携協議会小委員会を開催し、特別支援教育に関わる者から意見を集約した上で、実施設計を行った。【特別支援学校整備事業】 特別支援学校の本体工事に先駆け、植栽移設工事を前倒して着手できた。【特別支援学校建設事業】	教育総務課

園舎・校舎の改修・改築	老朽化した園舎・校舎を計画的に改修・改築し、保育環境・教育環境の改善、安全性の向上を図ることができた。 【園舎改修事業、園舎改築事業 等】【刈谷東中学校改築事業 等】	子ども課 教育総務課
放課後子ども教室の推進（全小学校への開設）	新たに住吉、東刈谷、平成小学校の3箇所開設することができた。【放課後子どもプラン事業】	生涯学習課

方向性3 出産や子育てと仕事を両立できる社会を実現する

取組① 出産や子育てに対する理解の促進

重点事業	推進状況	担当課室名
市内に拠点のあるファミリーフレンドリー企業の紹介	「ファミリー・フレンドリー企業」（男女ともに仕事と家庭の両立ができる様々な制度と職場環境を持つ企業）についてホームページによりPRを行うなど、ワーク・ライフ・バランス推進に寄与した。	商工業振興課
男女共同参画啓発事業、男女共同参画プラン推進事業	広報紙やホームページを活用した啓発、イベントや講座等を開催し市民の男女共同参画意識の向上に努めた。【男女共同参画啓発事業】 公募委員2名を含む男女共同参画推進懇話会および庁内の関係部署で構成する推進部会を行い、施策の進捗状況に対する意見収集を行った。また同懇話会、推進部会からの意見等を参考に「第2次刈谷市男女共同参画プラン」を改定した。【男女共同参画プラン推進事業】	市民協働課

取組② 出産や子育てと仕事を両立できる環境の整備

重点事業	推進状況	担当課室名
保育園の新設誘致・定員拡大	こぐま保育園増築補助を行うなど民間保育園に委託や補助をすることで安定した運営を続けることができた。 【民間保育所運営支援事業】 園舎を公園跡地に移転新築し、その際に定員を拡大することで、待機児童が発生している状況を緩和することができた。【さくら保育園園舎移転新築事業】	子ども課
児童クラブの開設時間延長	対象学年の拡大に向け4か所の放課後児童クラブで4年生の受入れを実施した。【放課後児童クラブ運営事業】	子育て支援課
幼稚園預かり保育の充実	就労、母親の通院、祖父母の看護、兄弟の健診、学校行事やボランティアへの参加など、保育時間終了後、支援が必要な保護者のニーズに応えることができた。【預かり保育実施事業】	子ども課

【基本目標2】 しごと・雇用創出支援

～だれもが意欲的に生きがいを持って働けるまちをつくる～

重要業績評価指標 (KPI)	現状値 (H26)	現状値 (H27)	目標値 (H31)
製造品出荷額等	17,389億円(H25)	15,800億円(H26)	17,700億円
市内の商店街でよく買い物をしている市民の割合	47.4%	—	50% (H32)
刈谷市全産業従業員数 (事業所別)	102,374人 (H24)	111,222人 (H26)	110,000人

方向性1 バランスの取れた工業振興を実現する

取組① 産業エリアの形成

重点事業	推進状況	担当課室名
産業立地促進補助事業	愛知県の補助制度の利用についても企業と連携しながら対応し、企業の負担軽減と事業拡大に寄与することで、企業の市外流出防止とともに地域経済の振興を図ることができた。【産業立地促進補助事業】	商工業振興課
工業用地の創出に向けた調査事業	依佐美地区について関係する機関と協議を進めることができた。【拡大市街地調査推進事業】	まちづくり推進課 企業立地推進室

取組② 技術開発・情報の交流支援

重点事業	推進状況	担当課室名
自動車産業販路開拓支援事業 (※地方創生先行型交付金事業)	名古屋モーターショーにおいて市内事業者に出展機会を提供し、優れた技術力を広くPRすることで、企業の販路拡大を支援することができた。【自動車産業販路開拓支援事業】	商工業振興課
中小企業活性化事業 (※地方創生先行型交付金事業)	研修実施後の受講者の所属組織への影響調査でも姿勢・発言等が「良くなった」と好評を得ることができた。【商工業者経営強化支援事業】	商工業振興課
中小企業新開発マネジメント事業	相談と指導、ビジネススクールと講演会の開催事業を中心に、中小企業の活性化に貢献した。【中小企業新開発マネジメント事業】	商工業振興課
新産業技術開発支援補助事業	企業の新たな技術開発を支援するとともに、公的試験機関の利用促進の一助となった。【新産業技術開発支援補助事業】	商工業振興課
見本市等出展支援事業	補助金を交付することで企業の出展意欲を喚起し、市内の優れたものづくりの技術力を発信して企業の販路拡大や新たなビジネスパートナーの発掘を支援できた。【見本市等出展支援事業】	商工業振興課

取組③ 中小企業支援

重点事業	推進状況	担当課室名
中小企業活性化事業 【再掲】	研修実施後の受講者の所属組織への影響調査でも姿勢・発言等が「良くなった」と好評を得ることができた。 【商工業者経営強化支援事業】	商工業振興課
中小企業新開発マネジメント事業【再掲】	相談と指導、ビジネススクールと講演会の開催事業を中心に、中小企業の活性化に貢献した。【中小企業新開発マネジメント事業】	商工業振興課
信用保証料補助事業	融資に係る信用保証料を補助することで、中小企業の円滑な資金繰りを支援し、経営の安定化の一助となった。 【信用保証料補助事業】	商工業振興課
小規模企業者設備投資促進補助事業	小規模企業者の事業継続及び拡大に伴う設備投資に係る経費負担を軽減することができた。【小規模企業者設備投資促進補助事業】	商工業振興課
小規模事業者経営改善資金利子補給事業	事業者が支払う利子の一部を補助することで、小規模事業者経営改善資金融資制度の利用促進を図り、資金繰りの一助とすることができた。【小規模事業者経営改善資金利子補給事業】	商工業振興課

方向性2 生活拠点におけるにぎわいのある商業環境を整える

取組① 商業施設等の誘致

重点事業	推進状況	担当課室名
商業施設の誘致に関する検討	商業施設が立地場所として選択するような市中心部の魅力を向上するため、中心市街地の活性化と交流人口拡大に向けた調査研究を実施した。	企画政策課 商工業振興課 まちづくり推進課

取組② 魅力ある店舗づくり・消費喚起

重点事業	推進状況	担当課室名
魅力ある店舗（空き店舗）の活用に関する検討	空き店舗の活用を含め商店街やまちなかのにぎわいを創出するための調査研究を実施した。 商店街組合などの商業団体に対して空き店舗活用に関する補助を実施するなど支援に取り組んだ。【商業団体事業費補助事業】	商工業振興課 まちづくり推進課
中小企業活性化事業 【再掲】	研修実施後の受講者の所属組織への影響調査でも姿勢・発言等が「良くなった」と好評を得ることができた。 【商工業者経営強化支援事業】	商工業振興課
商業団体事業費補助事業	顧客へのサービス及び地域住民のコミュニケーションを盛んにし、販売促進と商店街の活性化が図られた。 【商業団体事業費補助事業】	商工業振興課

商業者活性化事業	かりや商業まつりでは、参加店舗で買い物をした人の中から抽選で当たる景品が用意されたほか、Wチャンスとして再び地域商店に還元される商品券を発行したことが効果的であった。【商業者活性化事業】	商工業振興課
小規模企業者設備投資促進補助事業【再掲】	小規模企業者の事業継続及び拡大に伴う設備投資に係る経費負担を軽減することができた。【小規模企業者設備投資促進補助事業】	商工業振興課

方向性③ 持続可能な農業を目指す

取組① 生産基盤の強化

重点事業	推進状況	担当課室名
刈谷北部地区土地改良事業	県営土地改良事業を行うための地元説明会を開催するなど生産基盤整備を推進している。【県営経営体育成基盤整備事業（刈谷北部地区）】	農政課
農業用施設等補修事業	排水路に堆積している汚泥や土砂を浚渫することにより、排水能力と衛生面を改善し、水路機能を保持することができた。【農業用施設等補修事業】	農政課 雨水対策課

取組② 担い手の育成

重点事業	推進状況	担当課室名
刈谷ハイブリッドアグリ奨励事業（※地方創生先行型交付金事業）	新規就農者が企業OBなどを活用し、地域特産物である、スイカ、白菜の栽培技術を習得することができた。【刈谷ハイブリッドアグリ奨励事業】	農政課
新規就農総合支援事業	経営開始間もない新規就農者の不安定な農業経営を安定させることができた。【新規就農総合支援事業】	農政課

取組③ 刈谷農産物のブランド化などの推進

重点事業	推進状況	担当課室名
刈谷農産物のブランド化の推進	刈谷市農畜産物生産消費推進協議会への事業委託及び補助を通して、農産物のブランド化を推進している。【農畜産物特産化補助事業】	農政課
6次産業化の推進	刈谷市農畜産物生産消費推進協議会への事業委託及び補助を通して、6次産業化を推進している。【農畜産物特産化補助事業】	農政課

方向性4 新産業育成のための起業・創業を支援する

取組① 起業・創業支援

重点事業	推進状況	担当課室名
オープンデータ等の利活用に関する検討	オープンデータとして公開するにあたっての課題の洗い出しや、県主催の研究会に出席するなど調査研究を実施した。	広報広聴課 情報システム課
信用保証料補助事業【再掲】	融資に係る信用保証料を補助することで、中小企業の円滑な資金繰りを支援し、経営の安定化の一助となった。 【信用保証料補助事業】	商工業振興課
小規模企業者設備投資補助事業【再掲】	小規模企業者の事業継続及び拡大に伴う設備投資に係る経費負担を軽減することができた。【小規模企業者設備投資促進補助事業】	商工業振興課

方向性5 女性・シニア・若年層の就労を支援する

取組① 世代・性別に応じた就業支援（市内企業の雇用支援）

重点事業	推進状況	担当課室名
高校生コマ大戦等開催事業	全国から集まった次代のものづくりを担う高校生に対して「ものづくりのまち刈谷」をPRすることができた。 【高校生コマ大戦協賛事業】	商工業振興課
中小企業活性化事業【再掲】	研修実施後の受講者の所属組織への影響調査でも姿勢・発言等が「良くなった」と好評を得ることができた。 【商工業者経営強化支援事業】	商工業振興課
就業支援事業	セミナー参加者からは、役に立った、悩みが解消した、有意義であった等の多くの声が寄せられ、成果を数値では表せないが、就業支援に繋がった。【就業支援事業】	商工業振興課
労働者福祉助成事業	各団体の積極的な取組により、労働者等の育成・支援が図られ、工業の振興に繋がった。【労働者福祉助成事業】	商工業振興課

【基本目標3】 活動・交流・にぎわい支援

～安心・快適に住み続けられ、多くの人を訪れるまち（地域）をつくる～

重要業績評価指標 (KPI)	現状値 (H26)	現状値 (H27)	目標値 (H31)
観光施設の利用者数	1,046 万人	1,224 万人	1,100 万人
刈谷駅周辺が活気や魅力があると思う市民の割合	55.5%	—	65% (H32)
各種施設が整い、文化やスポーツ、生涯学習などに取組みやすいと思う市民の割合	75.4%	—	77% (H32)

方向性 1 市内外から多くの人を訪れるまちを目指す

取組① 魅力ある歴史・文化資源の発掘

重点事業	推進状況	担当課室名
歴史産業文化基本構想策定事業	本市の歴史、産業、文化の特色を活かしたまちづくりを推進する基本構想を策定するため、基礎調査等を実施した。【歴史産業文化基本構想策定事業】	企画政策課
亀城公園再整備事業、歴史博物館建設事業	桜の樹勢回復、園路広場等を整備に加え、歴史的建造物等の基本設計を実施した。【亀城公園再整備事業】 魅力ある施設を目指していくため文化庁へヒアリングを行ったほか、歴史博物館建設委員会において有識者・関係団体へのヒアリングを適宜実施し、設計に活かしている。【歴史博物館建設事業】	公園緑地課 文化観光課
刈谷偉人伝等制作事業（※地方創生先行型交付金事業）	刈谷偉人伝 DVD 及び紙芝居が幼稚園・保育園、小学校・中学校の授業等で活用されており、刈谷の歴史に興味を持つきっかけづくりができています。【刈谷偉人伝作成事業】	文化観光課

取組② 市内外の交流を深める PR・イベントの実施

重点事業	推進状況	担当課室名
観光推進体制の強化事業、観光協会補助事業、観光団体補助事業	刈谷駅北口広場に観光案内所を設置し、市内及び定住自立圏域の観光案内、みやげ品の販売、レンタサイクル及び超小型EVの貸し出しサービス等を提供することができた。【観光 PR 施設管理事業】 観光協会主催の産業観光ツアーにて地元の企業を訪問したり、ものづくりの現場を見学するなど産業観光を推進している。【観光協会補助事業】 古くから野田地区に伝わる雨乞笠おどりを観光資源として支援することにより、刈谷市の魅力を高めることができた。【観光団体補助事業】	文化観光課

刈谷レストランレ基本構想の更新	本市の魅力ある地域資源を活かした施策を推進する基本構想を更新するため、調査研究を実施した。	企画政策課
-----------------	---	-------

方向性2 中心市街地や商店街の活性化・にぎわいの創出を実現する

取組① 刈谷駅・刈谷市駅周辺のにぎわい創出

重点事業	推進状況	担当課室名
まちなかマネジメント構想策定事業	様々な主体の参画によるにぎわいを創出するための構想の策定に向けて、調査研究を実施した。	企画政策課
刈谷駅北口における市民活動スペースの設置事業	にぎわいの創出に向け、魅力ある駅前空間となるよう調査研究を実施した。	市街地整備課

取組② 商店街の活性化

重点事業	推進状況	担当課室名
魅力ある店舗（空き店舗）の活用に関する検討【再掲】	空き店舗の活用を含め商店街やまちなかのにぎわいを創出するための調査研究を実施した。 商店街組合などの商業団体に対して空き店舗活用に関する補助を実施するなど支援に取り組んだ。【商業団体事業費補助事業】	商工業振興課 まちづくり推進課

方向性3 スポーツを通して活動・交流ができるまちを目指す

取組① 競技スポーツを活かしたスポーツ振興の推進

重点事業	推進状況	担当課室名
国際大会等の誘致	刈谷市体育協会への補助を通して、国際大会等の誘致に向けた取組を推進した。【刈谷市体育協会補助事業】	スポーツ課
スポーツ施設再編についての検討	スポーツ施設の最適な配置のため、調査研究を実施した。	財務課
ホームタウンパートナー事業の推進	国内最高レベルの試合を間近で観戦できる機会があることを多くの市民に周知することや、トップアスリートによる子どもたちへの技術指導等を通して「する・みる・ささえる」というスポーツの多面性の中で、一市民一スポーツの推進に努めた。【ホームタウンパートナー事業】	スポーツ課

取組② だれもが参加できる市民スポーツの推進

重点事業	推進状況	担当課室名
スポーツを体験する場づくりの推進	市民が気軽に参加できる競技大会やイベントの開催、幼児や小学生、60歳以上の者など世代別の多様なスポーツ教室などにより、スポーツ活動への参加機会を提供・拡大できた。	スポーツ課
スポーツ教室の充実	<p>総合型地域スポーツクラブの育成やスポーツ推進委員の活動支援により、地域におけるスポーツ活動の場づくり、地域交流の促進を行うことができた。</p> <p>【各種大会開催事業、スポーツ教室開催事業、ニュースポーツ普及事業 他】</p>	

方向性4 多様な世代が活躍でき、安心・快適な暮らしを支える地域コミュニティを実現する

取組① 学生と連携したきっかけづくり

重点事業	推進状況	担当課室名
学生と連携したイベントの開催	<p>スペース Aqua の各種イベント事業や刈谷駅北口にアート作品を展示するなど運営協力を行った。【中心市街地活性化推進団体支援事業】</p> <p>夢と学びの科学体験館における夏休み特別講座「愛教大訪問科学実験」の企画運営を共同実施した。</p>	<p>まちづくり推進課</p> <p>子育て支援課</p>
学生によるチャレンジショップの実施	<p>「小学生のためのものづくり体験教室」の企画運営を共同実施した。</p> <p>チャレンジショップを展開しやすいよう商店街組合などの商業団体を通じて空き店舗活用に関する補助を実施した。【商業団体事業費補助事業】</p>	<p>生涯学習課</p> <p>商工業振興課</p>

取組② 市民活動・ボランティア活動の推進

重点事業	推進状況	担当課室名
市民ボランティア活動センターの充実	市民ボランティア活動センターのボランティアに関する情報・人・物の交流の場としての機能の充実を図ったことにより、相談件数、マッチング件数、団体・個人登録数が前年度より増加した。【市民ボランティア活動支援事業】	市民協働課
市民活動支援基金補助金による市民活動の支援	補助金の交付決定を審査会形式で行うなど対話を重視して取り組みを進め、協働意識の醸成及び市民同士の対話・交流・協働の促進を行うことができた。【市民協働推進事業】	市民協働課

取組③ 地域コミュニティの充実

重点事業	推進状況	担当課室名
「わがまちのしゃべり場」開催	自由で対等な対話の場の提供を目的として年間1回の開催により協働意識の醸成及び市民同士の対話・交流・協働の促進を行うことができた。【市民協働推進事業】	市民協働課
元気な地域応援交付金（※地方創生先行型交付金事業）	事業申請を検討する地区が増加したことに伴い、住民会議参加者数が増加した。事業申請に向けた住民会議が行われたことにより、地域の絆づくりのきっかけとなった。【地域活動活性化事業】	市民協働課
病診連携推進事業（※地方創生先行型交付金事業）	地域における病院と診療所の役割分担について掲載したパンフレットを作成・配布し、病診連携について啓発を行った。【病診連携推進事業】	健康課

【基本目標4】 住環境整備

～安心・安全な定住環境を整備する～

重要業績評価指標 (KPI)	現状値 (H26)	現状値 (H27)	目標値 (H31)
快適で便利な住環境が整備されていると思う市民の割合	79.8%	—	80% (H32)
災害に強いまちと思う市民の割合	55.9%	—	70% (H32)
犯罪や事故への不安がなく安心して外出できると思う市民の割合	61.1%	—	63% (H32)
車や自転車などで移動しやすいと思う市民の割合	65.4%	—	66% (H32)

方向性1 住み続けたい、住んでみたいと思われる良好な住環境を確保する

取組① 既成市街地における住まいづくり

重点事業	推進状況	担当課室名
空家等対策推進事業	空家等対策に関する調査研究を行うとともに、組織機構の再編により事業を推進するための組織体制を整えた。	まちづくり推進課
低未利用地の活用	土地利用に関する各事業を推進する計画（立地適性化計画）の策定に向けた調査を実施した。【土地利用計画検討事業】	まちづくり推進課 市街地整備課
中心市街地の活性化とまちなか居住の促進	刈谷駅周辺において、再開発事業などにより都市機能の一定の集約が図られ、それに呼応した商店街などの活動により、賑わいが創出され始めた。また、民間活力によるまちなか居住の推進に伴い、中心市街地定住人口が近年増加しつつある。【南桜町地区優良建築物等整備事業 他】	

取組② 新市街地における住まいづくり

重点事業	推進状況	担当課室名
拡大市街地調査推進事業	小垣江町北部地区について事業実施の判断に必要な事業主体や手法の検討を進めることができた。【拡大市街地調査推進事業】	まちづくり推進課 市街地整備課

方向性2 安心・安全な都市基盤を整備する

取組① 災害に強いまちづくり

重点事業	推進状況	担当課室名
防災備蓄品等の整備	拠点となる防災倉庫の食料等備蓄品の拡充を図ることができた。また、避難所の防災備蓄倉庫を計画に沿って更新し、扉の操作性や備蓄品の保管性が向上した。【防災備蓄倉庫整備事業】	危機管理課

地域防災力の強化	地域が独自に立案する目的と計画に対して補助を行うことにより、資機材の整備や防災活動の実施を通して、防災意識の高揚が図られ、個人や地域が「自分のまちは自分たちで守る」という気持ちを持ち、災害に対する備えを行うことができた。【地区防災対策事業】	危機管理課
住宅などの耐震化の促進	地震対策の補助制度を市民に周知するため、地区役員と連携して対象家屋を訪問するローラー作戦の実施や、わんさか祭り、小学校で出前講座の開催等を行った。【わが家の地震対策事業】	建築課
橋りょう補強の推進	橋りょうの補修工事を計画どおりに行うことができ、橋りょうの長寿命化を図るとともに第三者被害の防止と利用者の安全確保を図ることができた。【橋りょう長寿命化整備事業】	土木管理課
治水・雨水対策の推進	<p>浸水被害の解消を図るため、雨水幹線（バイパス管）及び雨水貯留施設（野田公園）を整備した。【吹戸川流域浸水対策事業】</p> <p>浸水被害の解消を目指した「刈谷市雨水対策マスタープラン」を策定した。【雨水貯留浸透事業】</p> <p>道路冠水の解消を図るため、排水路（一里山町）を整備した。【吹戸池排水路整備事業】</p> <p>草野川の河道を拡幅する改修工事を推進した。【準用河川草野川改修事業】</p>	下水道建設課 雨水対策課

取組② 犯罪に強いまちづくり

重点事業	推進状況	担当課室名
街頭防犯カメラの設置	警察、地区と協力して、公園、駅周辺をはじめとした街頭へ防犯カメラを設置することができた。【街頭防犯カメラ設置事業】	くらし安心課
防犯灯 LED 化の推進	防犯灯の 62.1%が LED 化され、消費電力を削減し、また、球切れによる未点灯の状況も削減が出来た。【防犯灯 LED 化事業】	くらし安心課

取組③ 交通安全対策の推進

重点事業	推進状況	担当課室名
交通安全施設の点検を強化	交通事故防止対策として設置した道路安全灯や道路反射鏡など交通安全施設の破損など点検を強化し、安全な交通環境を維持することができた。【交通安全施設管理事業】	くらし安心課
ゾーン 30 の推進	ゾーン 30 指定後の区域について、効果など実証実験を行った。また、警察と調整し、新たな区域の選定をした。	くらし安心課

方向性3 “ひと”と“環境”にやさしく持続可能な総合交通体系を構築する

取組① 道路の整備

重点事業	推進状況	担当課室名
電線類地中化の推進	電線類の地中化及び歩道のバリアフリー化工事を行い、緊急輸送道路の機能確保及び安全で快適な歩行空間を整備することができた。【市道 01 - 25 号線他電線類地中化事業 他】	道路建設課
歩道の段差等解消に関する取組	平成 28 年実施予定の歩道の段差等解消に関する取組に向けて調査研究を実施した。	道路建設課
幹線道路に関する調査・検討（スマート IC、西三河知多アクセス道路、南北縦貫道路）	自動車交通の渋滞緩和に向け、新規幹線道路に関する調査検討を実施した。スマート IC 設置に向けて、関係機関との協議や整備効果の分析を実施した。【都市交通計画調査推進事業】	都市交通課

取組② 公共交通ネットワークの充実

重点事業	推進状況	担当課室名
交通課題把握のための調査等を実施	大規模交通量調査を実施し、市内主要交差点の交通の状況を把握した。【都市交通計画調査推進事業】	都市交通課
公共施設連絡バス等の調査・検討を実施	既定計画におけるバス見直し方針の整理や、路線見直し案の検討など、バス交通の維持改善に関する調査検討を実施した。【都市交通計画調査推進事業】	都市交通課
移動手段の適正化に向けた調査・検討を実施	逢妻駅自由通路の長寿命化に向けた修繕計画の策定や、刈谷駅南北連絡通路計画策定に向けた調査検討を実施するなど移動手段の適正化に努めた。	都市交通課

方向性4 公共施設の最適な配置を検討し、計画的な更新・長寿命化を図る

取組① 公共施設の総合的かつ計画的な管理及び維持保全を図る

重点事業	推進状況	担当課室名
公共施設維持保全計画の推進	現地調査を行い、施設の劣化状況の把握に努め、次年度の保全計画を作成した。施設毎で行っていた保守点検業務委託を財務課でとりまとめ、入札契約を一元化し、契約金額の削減を図った。【公共施設維持保全計画推進事業】	財務課
公共施設等総合管理計画の策定	施設所管課へのヒアリングや施設アンケート調査を基に、対象施設の現況や将来見通しを整理し、公共施設等総合管理計画の骨子を作成した。【公共施設等総合管理計画策定事業】	財務課

取組② 社会情勢の変化や住民のニーズに即した公共施設の最適な配置を実現する

重点事業	推進状況	担当課室名
公共施設等総合管理計画の策定【再掲】	施設所管課へのヒアリングや施設アンケート調査を基に、対象施設の現況や将来見通しを整理し、公共施設等総合管理計画の骨子を作成した。【公共施設等総合管理計画策定事業】	財務課

【共通事項】 刈谷の魅力発信の推進

～刈谷の魅力を市内外に向けて効果的に広く発信する～

戦略的な情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ○ Web サイトや SNS などのソーシャルメディア、新聞や情報誌などの産業メディアの効果的な活用 ○ 企業等とタイアップした積極的な取組の展開 ○ 刈谷らしさの創造、展開 ○ 既存の名産品、マスコットキャラクターの活用
まちの魅力の再確認・活用	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子育て・住みやすさなどの可視化、歴史文化の再確認 ○ 多様な学習機会、文化交流の場の提供 ○ 伝統行事の継承・発展、誇るべき地域資源の活用 ○ 企業城下町の強みを活かす取組の推進
推進体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各部等における魅力づくりのための職員の意識の向上 ○ 部署間の連携体制強化

重点事業	推進状況	担当課室名
歴史産業文化基本構想策定事業【再掲】	本市の歴史、産業、文化の特色を活かしたまちづくりを推進する基本構想を策定するため、基礎調査等を実施した。【歴史産業文化基本構想策定事業】	企画政策課
まちの魅力創出施策推進のための職員研修の実施	本市が持つ地域資源の魅力を市内外へ発信するために外部派遣研修等を活用し、調査研究を実施した。	関係各課
刈谷の魅力発信事業（※地方創生先行型交付金事業）	市外イベントでは、老若男女幅広くから親しみを持たれるマスコットキャラクター「かつなりくん」をきっかけとしながら、主に歴史文化面をPRし、本市の認知度やイメージ向上に努めた。【刈谷の魅力発信事業】	企画政策課 広報広聴課 文化観光課
刈谷偉人伝等制作事業【再掲】（※地方創生先行型交付金事業）	刈谷偉人伝 DVD 及び紙芝居が幼稚園・保育園、小学校・中学校の授業等で活用されており、刈谷の歴史に興味を持つきっかけづくりができています。【刈谷偉人伝作成事業】	文化観光課

刈谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進状況（平成27年度）

発行 愛知県刈谷市
編集 企画財政部企画政策課
〒448-8501
愛知県刈谷市東陽町1丁目1番地
TEL 0566-23-1111（代表）
FAX 0566-23-1105
URL <http://www.city.kariya.lg.jp>